

令和6年度

わが家の結いタイム三行詩

コンクール入選作品

どの作品も情景が

浮かんでくるような

ステキな三行詩です

心がほっこりしたり、

胸がじんとしたり…

ゆっくりとご覧ください

特選作品



小学校高学年の部

おふろのふたをしめるのはぼくの仕事
帰りがおそいお父さんが
あったかいおふろに入れるように、
しっかりふたをしめてます

松尾小 4年 矢澤晴大

小学校低学年の部

「本よんであげるよ」
もうよめるのに
だけどもよんで。

丸山小 2年 近藤ゆい

園児の部

わたしはおかあさん
りっくんはおとうさんにだっこで
えほんをよむの
それがいちばんうれしいじかん
羽場こども未来園 年中 市瀬 碧心

一般の部

給食着のアイロンをかけながら
また1週間頑張つてね。
と心で願う 日曜日

野崎 美菜

中学校の部

「家族が好きな訳を教えてください。」
えっ
理由なんてある訳ないじゃん!!
緑ヶ丘中 3年 橋爪 双葉

入選作品

きょうまにによる
だっしでもういました。
あとはぼだっししてくれました。
うれしくてわらいました。

風越こども未来園 年長 熊谷 好誠

おかあさんにギュッ
わたしの大事な充電器

松尾小 3年 小林 かれん

ママがてっぺんてっぺんという
パパがぼくをよぶ
ぼくはみんなのおたすけヒーロー

龍江小 1年 林 朗穂

もう小学生だけど
パパのだっこがすぎ
ママのぎゅっ!! がすぎ
だからいもうとといっしょで
あまえない

丸山小 2年 上原 愛絆未

朝読書はつくえの上で
夜読書はふとんの上で
家族5人の読書タイム
「電気消すよ」で
本ともおやすみ

龍江小 4年 及川 実宗

お母さんのごはん日本一
みんなで食べると世界一
「おかわりー」という声宇宙一

松尾小 6年 山崎 透季

おぼんの日。なくなった父が
帰ってきた。家族四人そろって
うれしかった。

川路小 4年 佐藤 明莉

中学校の部

「ありがとう」そのたった一言が言えない
いつも「サンキュー」と言って誤魔化す
今度こそ伝えたい「ありがとう」を
いつもありがとう
お母さんとおばあちゃん

遠山中 2年 小澤 未桜

母の機嫌
なぜかおれだけ
なんとなく分かる

緑ヶ丘中 2年 小林 皓翔

それぞれちがう本を読む
いつのまにか集まってる
示しあわせてないのに
静かで優しい好きな時間

緑ヶ丘中 2年 齊藤 涼那

一般の部

ちよつこのお手伝いが
すごく実はうれしいんだよ。
今日は何をしてくれる?
そんな「少し」が幸せです。

磯田 由美子

兄弟二人の背比べ
いつのまにやら
家族みんなで背比べ

佐藤 香織

週5で習いごとに行く娘に
周りは「大変だね」って言うけれど
実はママは楽しいんだよ
だつて車のなかで娘と
ナイショのおしゃべりできるから

吉森 千尋

佳作作品

ぼくのてづくりたまごやき
やすみのあさは
ぼくがつくるぞ

勸修河原学園 年長 田中 善治

ひいばあちゃん
なにたべてるの?
と大きな声で

中村保育園 未満 谷口 いちか

ばあばといるとうれし。
かあさんとおかいものを
いっしょにいくとたのし。
おにちゃんといっしょに
あそぶとたのし。
とうさんはちからもちですごい。
じはおしごとをがんばっている。

松尾小 1年 熊谷 和心

つらいとき、かなしいとき
家族に話せば
心もぼかぼか

丸山小 3年 熊谷 詩歩

日曜日はパパカレー
ぼくのだいこうぶつ
とくべつのおじ

千代小 2年 櫻井 友晴

じぶんはおてつだい
きらいだけど
やたらかぞくがに「じい」で
じぶんもにっこり。

松尾小 2年 阿部 樹来

行ってきます
ママのタッチで
元気です

千栄小 3年 林 愛良

夏の夜にそうめんを食べた
ズルズルズル
あつ 同時だつた
おもしろいね

丸山小 5年 竹内 結穂

小学校高学年の部

わが家では
昔の写真を振り返る
みんなニコニコ
ときどき大爆笑
この時間が
ずっと続きますように

上郷小 5年 水野 結月

家族のね
「ただいま」の声で
今日がどんな1日だったか
わかつちやう

竜丘小 5年 岡本 和心

お手伝い
終わつた後には
あついはべ

千栄小 6年 高橋 遼多

豆まきに
年の数だけ 豆食べられて
もつと食べたいわたしと
いらないうおばあちゃん

龍江小 4年 澤柳 未来

夕食中
しゃべる声がかさず
テレビの音が聞こえない

遠山中 3年 野村 和音

反抗期
なかなか言えない
「いつきます。」
そんなときでも
母は必ず「いつつらつやいー」

飯田東中 2年 安藤 万里子

試合の後
やったことないくせに
よくそんなこと言えるよね
と思っけど
やったことないのに
いつも応援してくれる

緑ヶ丘中 2年 大槻 星明

「今日どうだった?」
変わったことはないけれど
家族の会話の
スタートワード

竜映中 1年 及川 宗助

中学校の部

夏の始まり
田植えが終わり、
みんなでニコニコ
豊作ねがい

緑ヶ丘中 2年 前澤 蒼南

もう身長同じじゃない?
いやまだだと背伸びする
お母さんと私

緑ヶ丘中 2年 金田 美緒

一般の部

金よう日
父さん母さんビールで乾杯
子どもたちはジュースで乾杯
お家居酒屋開店です。

野牧 美好

小さな手でしてくれる
マッサージ
心もほぐれて
ぐっすり眠れる

加藤 映子

子供に任せた風呂掃除
ゴウフルつけて海パン履いて
濡れても平気!
とおおはしやぎ

櫻井 真美

手をふって
いつもの角までお見送り
照れくさそうに振り返る
今日も元気に
行つてらっしゃい!!

串原 智子

「ねえ、本読もうよ」
「なんで誘つての?」
たずねる私に娘が「言
だつて、読んだら話したいから」

及川 崇